

詠む広場

毎 日 俳 壇

片山由美子 選

小川 軽舟 選

西村 和子 選

井上 康明 選

蠟梅の開きて香りほどけたり

東久留米市 矢作 輝

〈評〉まさにろう細工のような美しい花でよい匂いがあたりただよ。ほどけたのはつぼみだが、「香りほどけたり」が巧み。

病室の荷をまとめけり鳥雲に

臼杵市 村上 玲子

〈評〉増えた荷物をまとめて退院の準備をしているのだ。越冬した鳥たちは北方へ帰っていく頃。

近江より小さき小包初詣り

池田市 高倉 明子

杉の葉の端を銜へて薄氷

越前市 加藤 隆規

あたたかや波はそれぞれ音を生み

和歌山 神野 一馬

白鳥のしなやかに発つ日和かな

水戸市 永井 弘子

バーコード巻かれし腕や春浅し

小田原市 林 梢

ゆくりなく整ふ小庭春の雪

千葉市 畠山(はこ)こ

ひもじさを知らぬ世に生き菜飯食ふ

和歌山 馬谷富貴子

寒明や散歩の歩幅やや広く

福島 渡辺 俊子

果ての果て春の岬にゆき着けり

香芝市 山本 合一

〈評〉あてどなく続けた旅の果てに行き着いた岬なのだ。その旅は人生そのもののようにも見えて、さびしさが胸に迫る。

雪嶺の浮くや臺の波の上

盛岡市 舟山 治男

〈評〉いらかの波の上だから雪嶺が浮く。古典的な縁語の手法で景色を我がものにした。

荒涼たる男の胸や春立ちぬ

平塚市 藤森 弘上

春浅しペランダへまた番鳩

大和高田市 楠 伸治

立春や朝日のおたる窓いくつ

平塚市 森本富美子

斜交ひに相撲部屋ある日永かな

大和市 河村 笑

老梅の蕾夜来の雨しづく

さいたま市 池田 雅夫

春暁の大鍋座る厨かな

高知 渡辺 哲也

川岸に釣り人一人寒甚

東京 齋藤 金也

飛べる気する早春の水たまり

北九州市 あげぼの聖子

水瀑のなかをかすかな水の音

土浦市 今泉 準一

〈評〉凍りついた滝の奥にかすかな水音がする。「を」のひと音で、見えない所を通う水の動きを表現した。春の気配を感じる。

初蝶に團児の列の乱れけり

東京 小島 信子

〈評〉一読して情景が目につく。初々しいチョウの動き、散歩中の團児らの喜びよう。春も本番。ふりむけば首ごと鳴る二月かな

品書を枝に掛けたる梅見茶屋

三條市 富島 勝

この峰を越えれば高野鳥雲に

福岡市 山本 眞弓

野球部の頭髪伸びて卒業す

和歌山 馬谷富貴子

がり版で刷りし文集卒業期

倉敷市 行本 章允

休日の大重機脱力鳥雲に

東京 東 賢三郎

冬籠り手持ち無沙汰に鍋磨く

四日市市 佐藤 径

和布刈舟潮渦巻く音なり

見附市 岡村 文字

岸和田市 妙中 正

列島に街道あまた菜の花忌

越谷市 安居院半樹

〈評〉菜の花忌は、司馬遼太郎の忌日、2月12日。代表作のひとつ「街道をゆく」を思わせる情景、各地の街道を菜の花が彩る。春寒や指になじみし万年筆

春寒や指になじみし万年筆

市川市 高野 厚夫

〈評〉使い慣れた万年筆の感触に、春浅い寒さを実感している。あたたかい春が待ち遠しい。濁流を追ふ濁流や雪解川

濁流を追ふ濁流や雪解川

青森市 小山内豊彦

流し雛まぶしき光全身に

東京 小栗しづゑ

春風に阿修羅かひなを広げたり

北本市 萩原 行博

きらきらとペランダインの滝しぶき

宇陀市 泉尾 武則

山門へ一步を正す遍路杖

八街市 山本 淑夫

黒川能大地踏む子や春近し

北杜市 小松 俊隆

春一番造船のテーク切る

鎌ヶ谷市 佐藤 紀子

沈丁のかげに幼き日の私

相模原市 小山 鞠子

調べの鼓動

開花予想 星野高士

俳人にとっては四季の季節が大切だ。俳句の会では、句の季節を詠んだ俳句を出すのがマナーとされている。

となるところその気になるのが桜の開花時期。この時期の天気予報は、気温や天気よりも、開花予想の方に目が行ってしまふ。俳句仲間とも「今年はや早いのではないか」などと、自主的な予報をし合っている。長年やっている、たまに当たることもある。

・咲き満ちてこぼるゝ花も無かりけり

虚子

まさに春爛漫といった景色。こんもりと咲いた満開の桜並木が見えてくる。桜の真下というより、少し離れたところから眺めた景色だろう。花見の喧嘩から少し離れて、静かに桜の景色を試っている。

実はこの句、昨年10月に、虚子の娘の星野立子さんの大仏の冬日は山に移りけりという句の隣に、新たに句碑が建てられた。場所は、あの鎌倉大仏がある高徳院(神奈川県鎌倉市)だ。星野立子さんは私の祖母、高浜虚子は私の曾祖父にあたる人。大勢の方に句碑を見てもらえるのが楽しみである。大仏の右膝の方向に句碑が建っている、ぜひ皆さんにも見ていただきたい。

鎌倉大仏といえば、学生たちの遠足スポットになっている。「遠足」も桜と同じく4月の季節だ。鎌倉駅前の小町通りは、時期になると修学旅行生が大勢歩いている。子供たちは、桜と大仏と句碑とをどのように見るだろうか。そんなことより、お友達との会話が楽しい子も多いと思うが。

(ほしの・たかし)俳人